

新規陽性者数の推移と患者発生シミュレーション

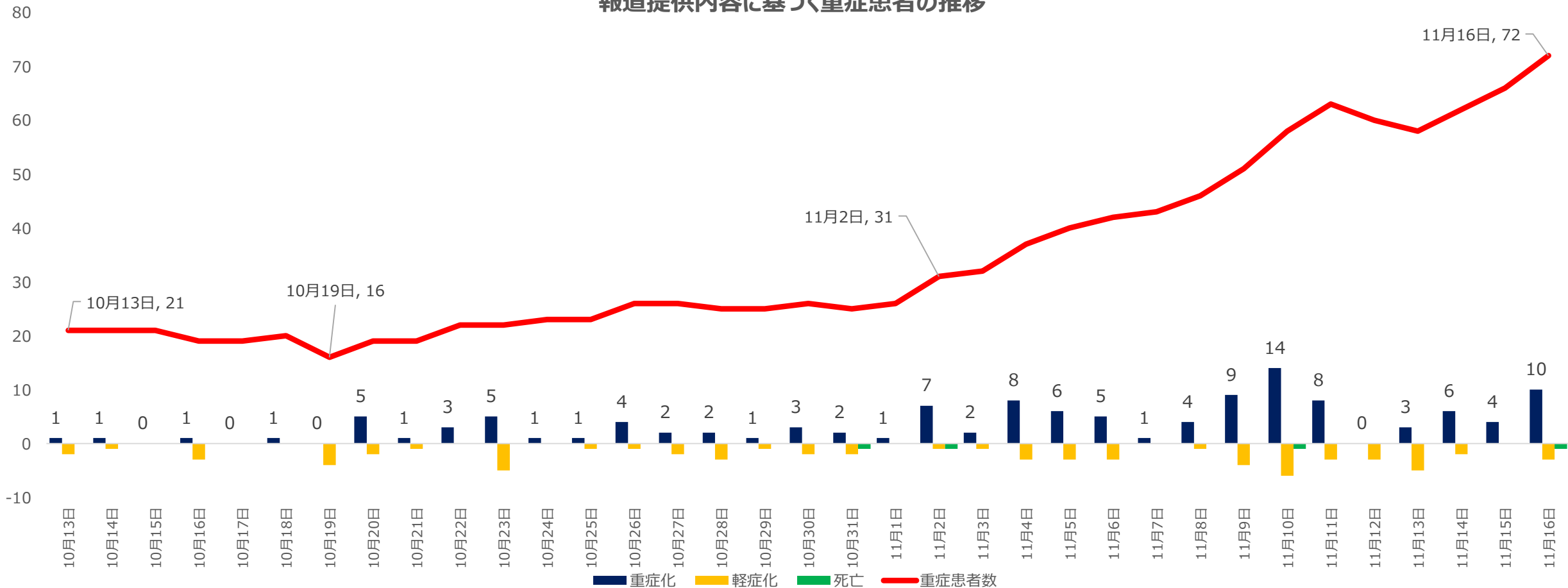
重症患者数の推移

新規陽性者数の増加に伴い、10月19日以降、重症患者数が増加。

10月19日から11月2日までの2週間で15名増加したことに比べ、11月2日から11月16日の2週間で41名増加（約2.7倍）。

⇒今後、新規陽性者数の増加に伴い、医療提供体制のひっ迫が想定される。

報道提供内容に基づく重症患者の推移

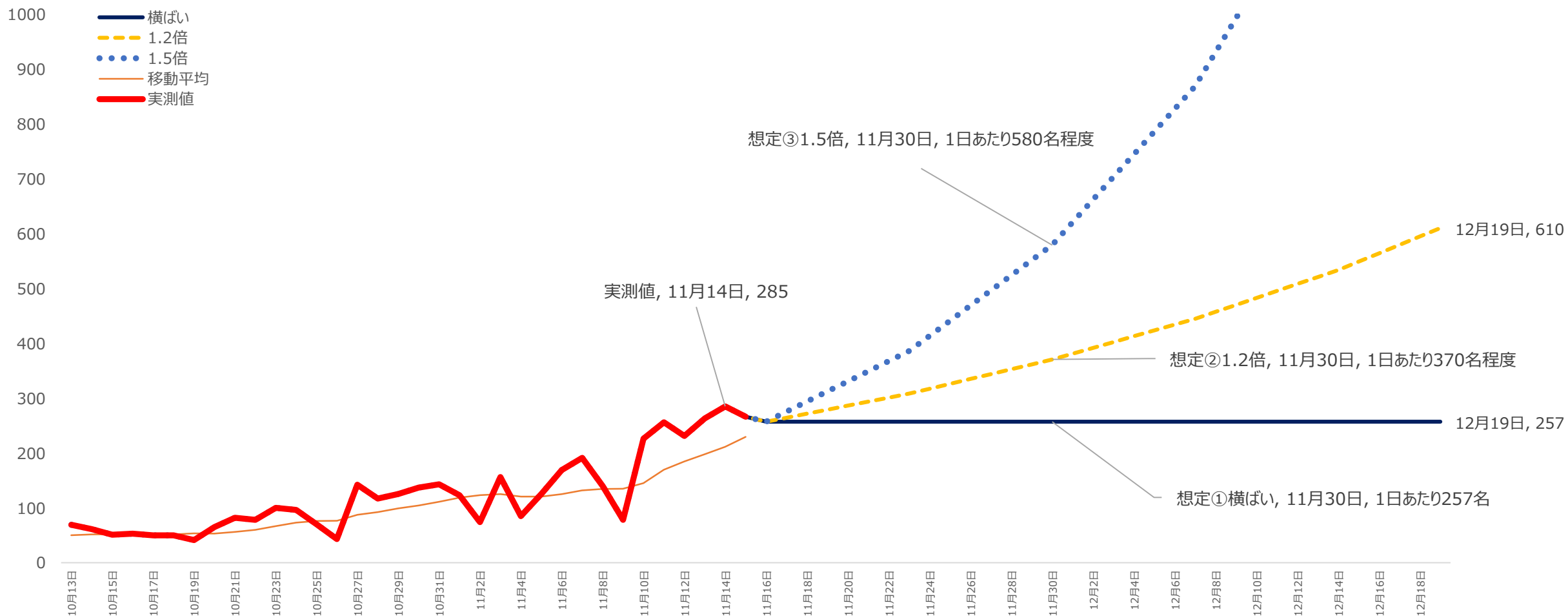


新規陽性者数の推移と患者発生シミュレーション

■ 今後の患者発生予測として、以下の想定でシミュレーションを実施。

- ・想定①：11月16日以降、新規陽性者数が257名/日（週合計1800名）で横ばい傾向となる場合
- ・想定②：11月16日以降、新規陽性者数が前週比1.2倍ずつ増加していく場合
- ・想定③：11月16日以降、新規陽性者数が前週比1.5倍ずつ増加していく場合

患者発生シミュレーション



重症患者数のシミュレーション

11月16日以降、以下の想定で新規陽性者数が推移した場合の重症患者数のシミュレーションを実施。

- 想定①
11/16以降、新規陽性者数が257名/日で横ばい傾向となる場合
- 想定②
11/16以降、新規陽性者数が前週比1.2倍ずつ増加していく場合
- 想定③
11/16以降、新規陽性者数が前週比1.5倍ずつ増加していく場合

【重症率の設定の考え方】

■ 新規陽性者数のうち、40代以上が55%(*1)と設定。40代以上の新規陽性者数における重症率を5.5%(*2)と設定（全体陽性者中の重症率が3%(*3)）。

※1 感染経路不明者の7日間移動平均の前週増加比が1以上となった10/13から11/12までに判明した陽性者数(3427名)のうち、40代以上の患者数(1874名)から算出。

※2 10/13から11/12までに判明した40代以上の陽性者数(1874名)のうち、重症化した患者数(103名)から算出。

※3 10/13から11/12までに判明した陽性者数(3427名)のうち、重症化した患者数(103名)から算出。

■ 重症者のうち、31%は診断時に重症、69%は診断時は無症状・軽症だが、約3日後に重症化する（第二波実測値）。

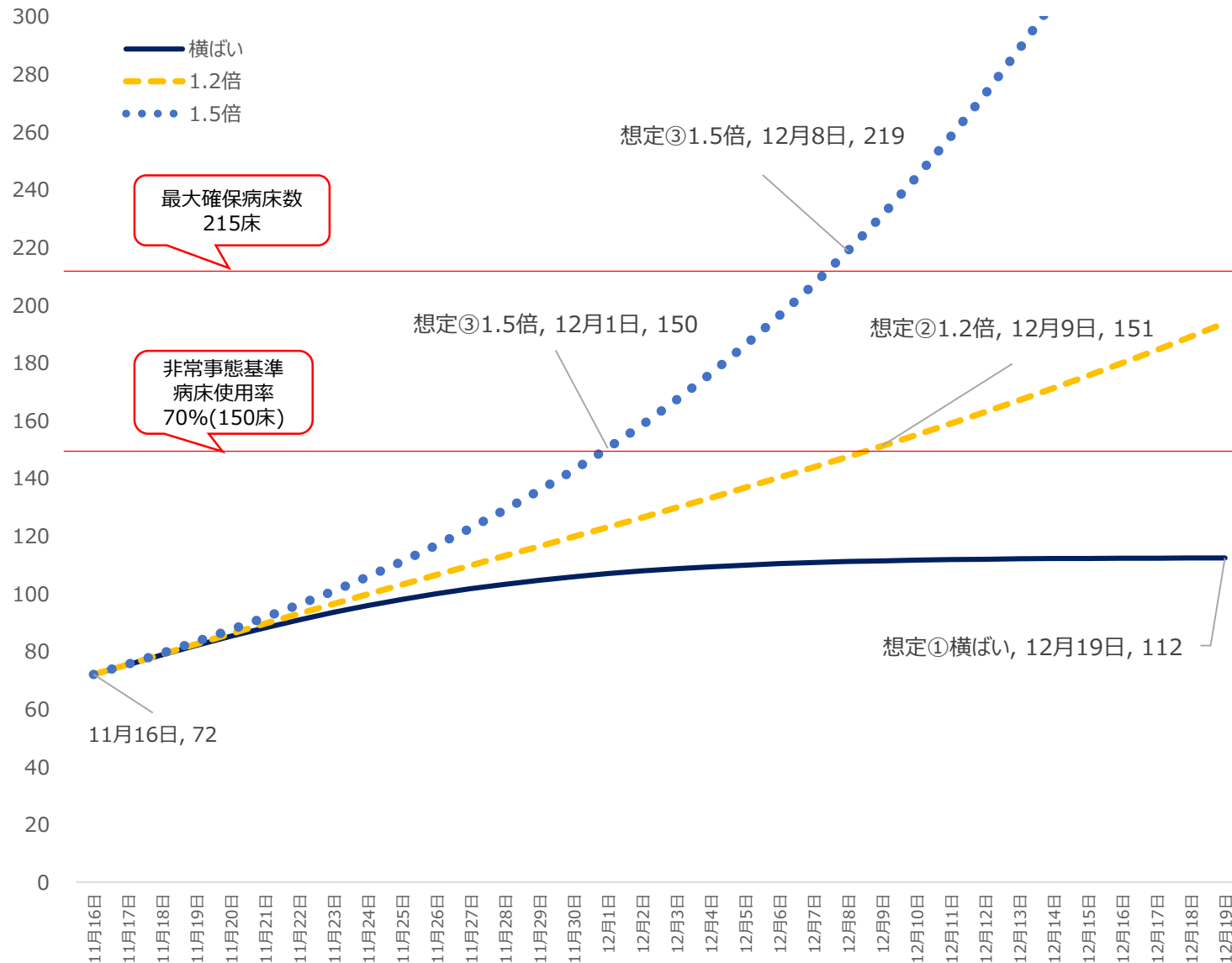
【療養方法と期間の設定の考え方】

■ 重症患者以外の陽性者のうち、22.8%は入院療養、34.7%は宿泊療養、42.5%は自宅療養となる（第二波実測値）。

■ 重症患者の入院期間は約21日間で、軽症化した後退院する（第二波実測値）。

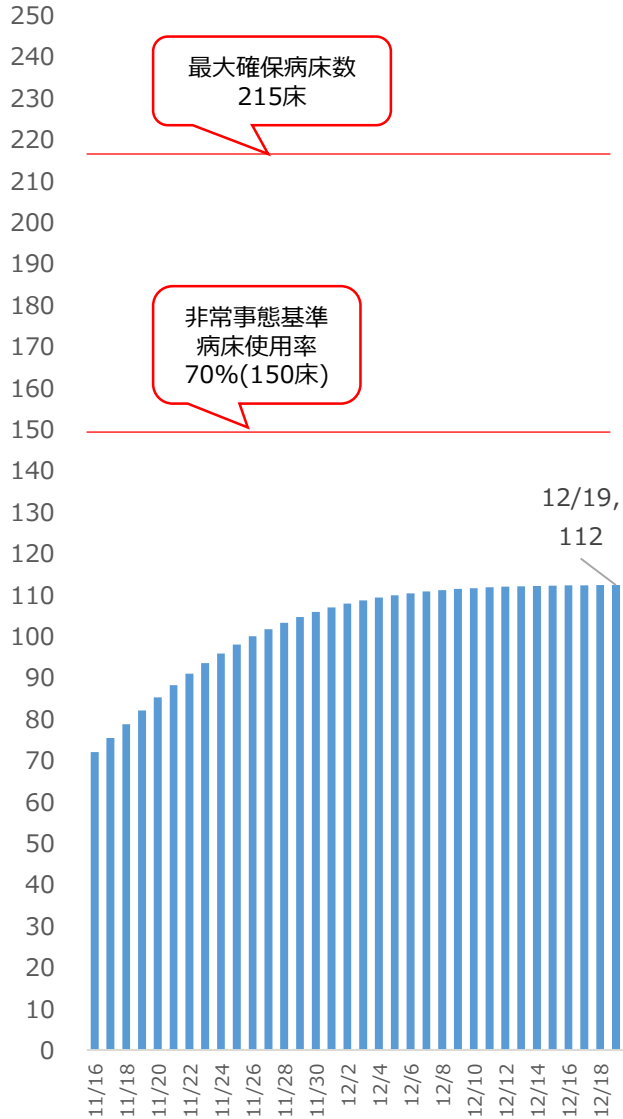
■ 重症以外の入院療養者は約11日後に退院する（第二波実測値）。宿泊及び自宅療養者は約7日後に解除とする（第二波の宿泊療養者の療養期間から設定）。

重症患者数シミュレーション

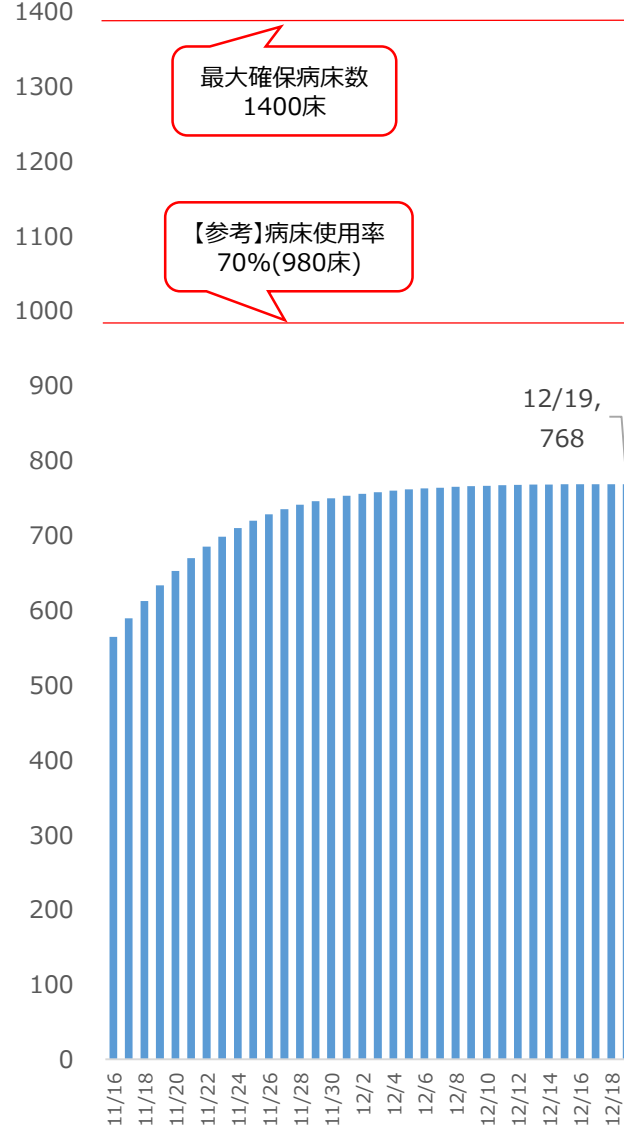


入院者数及び療養者数のシミュレーション 想定①新規陽性者数が257名/日で横ばい傾向となる場合

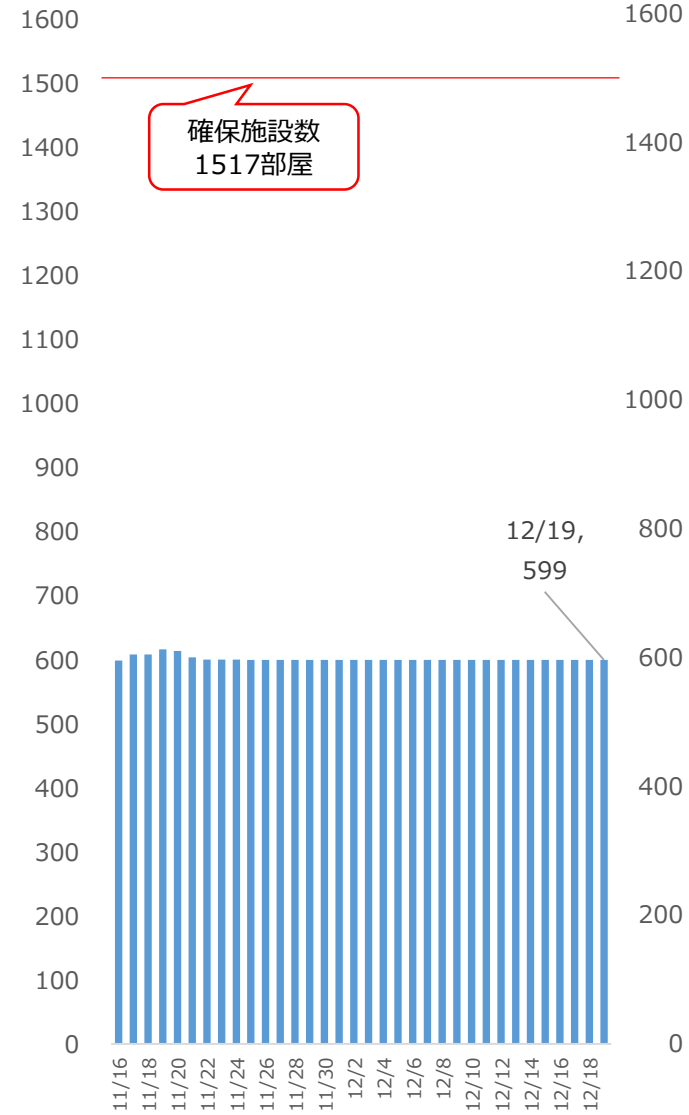
入院患者数(重症)



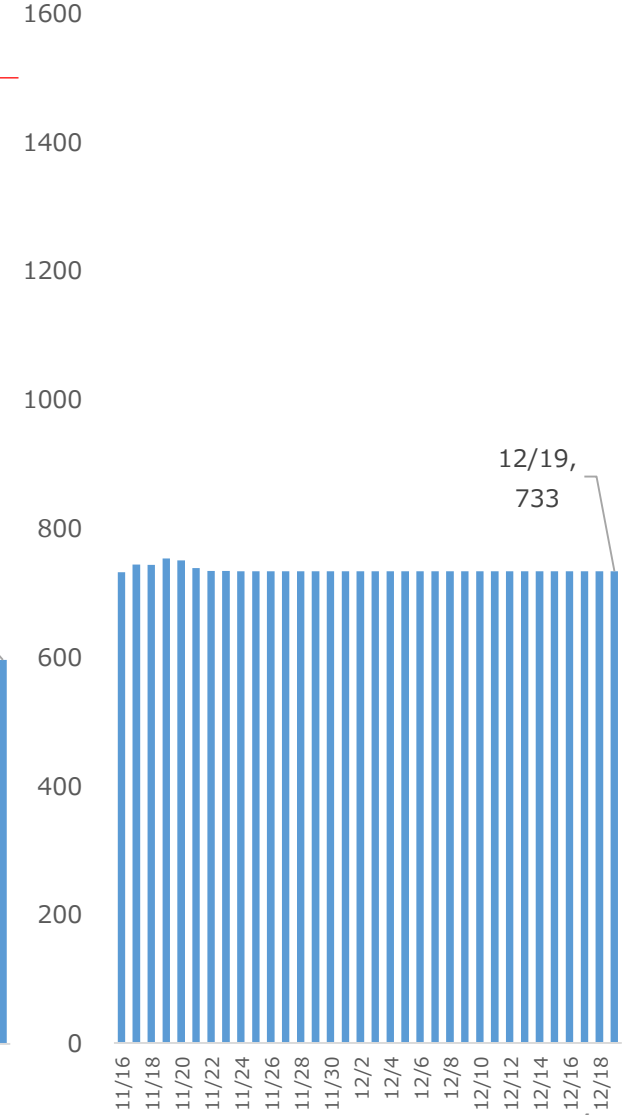
入院患者数(軽症)



宿泊療養者数

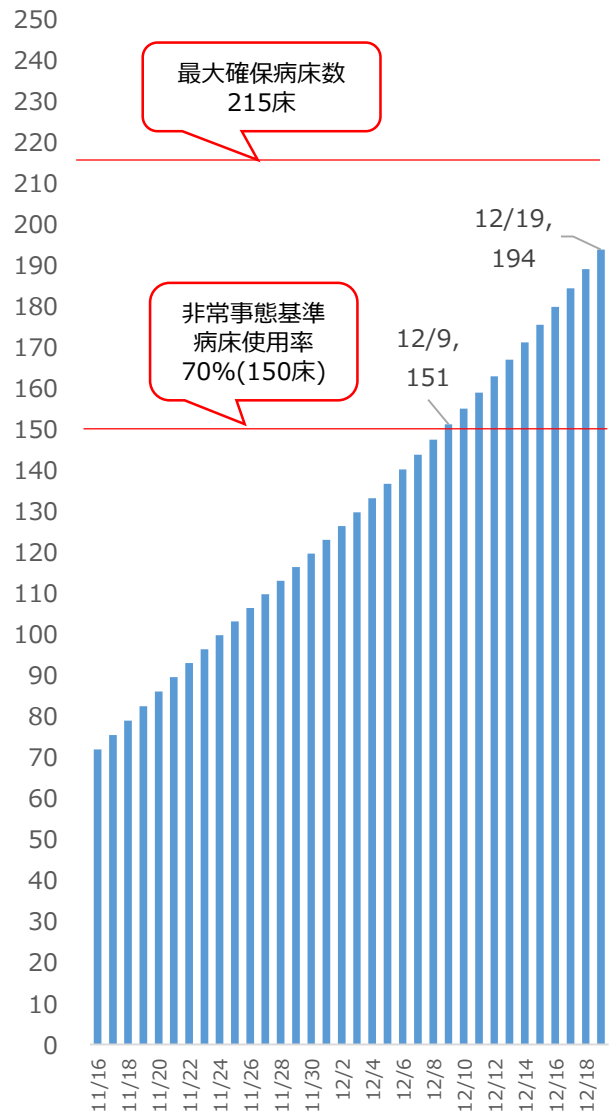


自宅療養者数

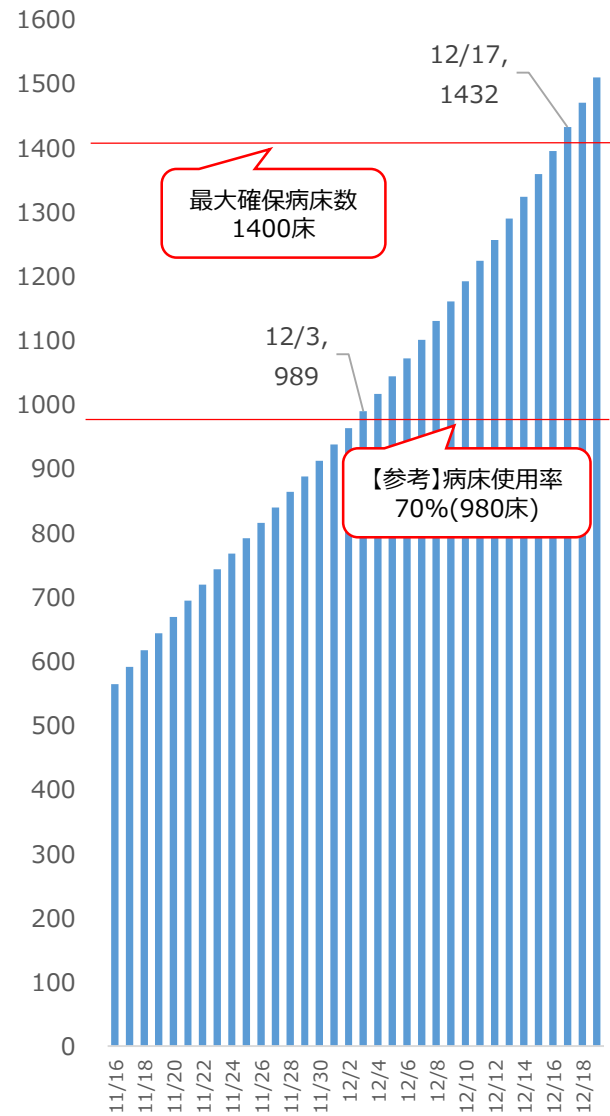


入院者数及び療養者数のシミュレーション 想定②新規陽性者数が前週比1.2倍ずつ増加していく場合

入院患者数（重症）



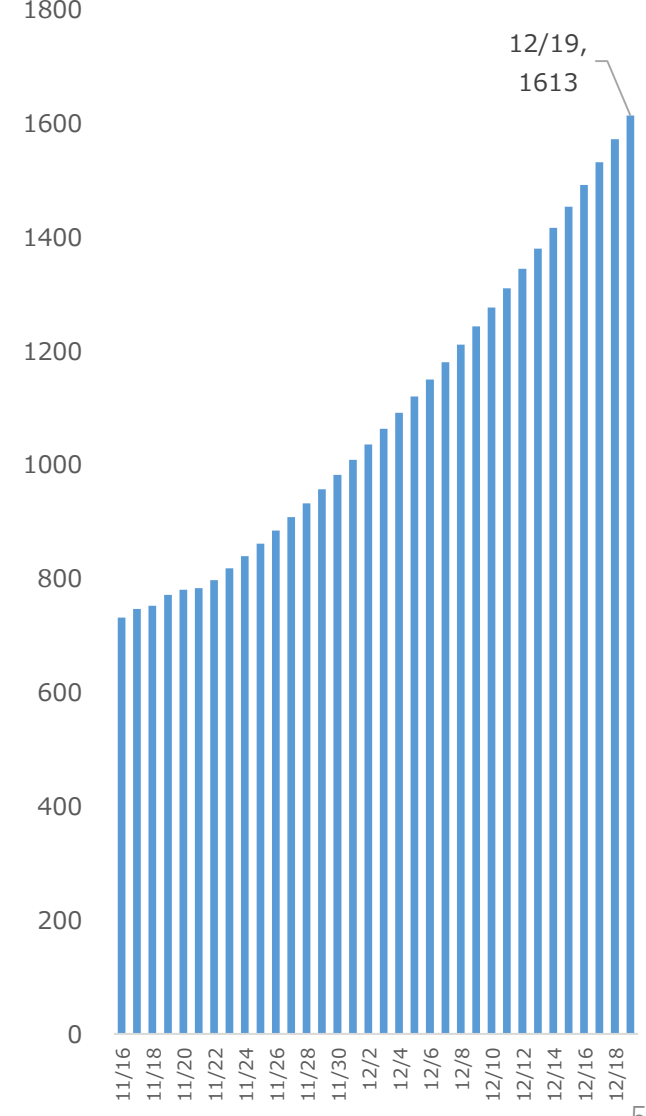
入院患者数（軽症）



宿泊療養者数

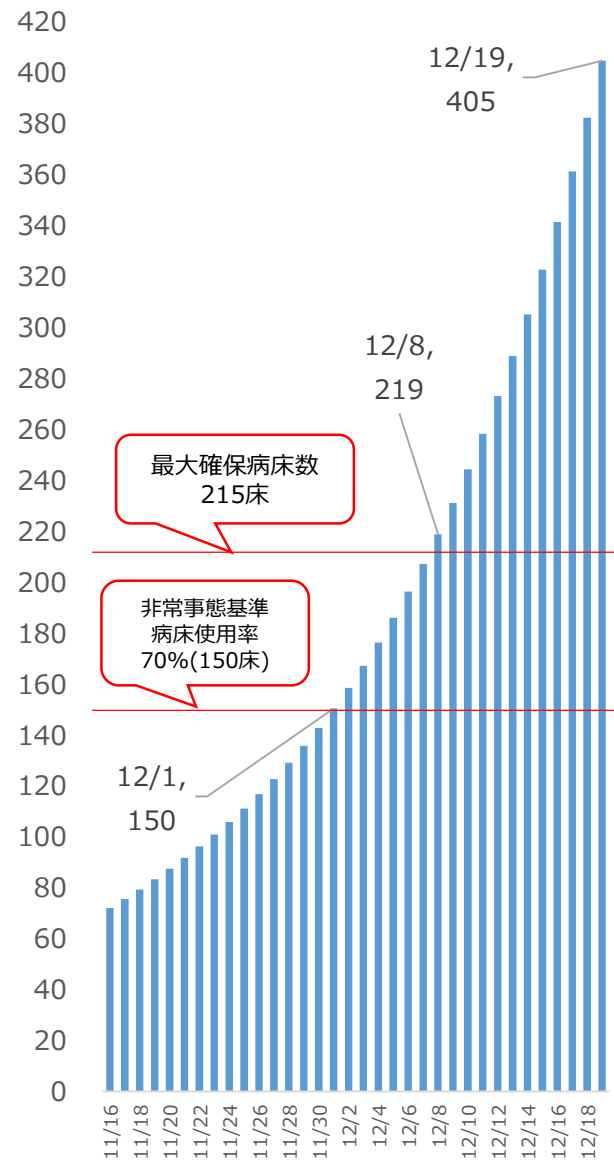


自宅療養者数

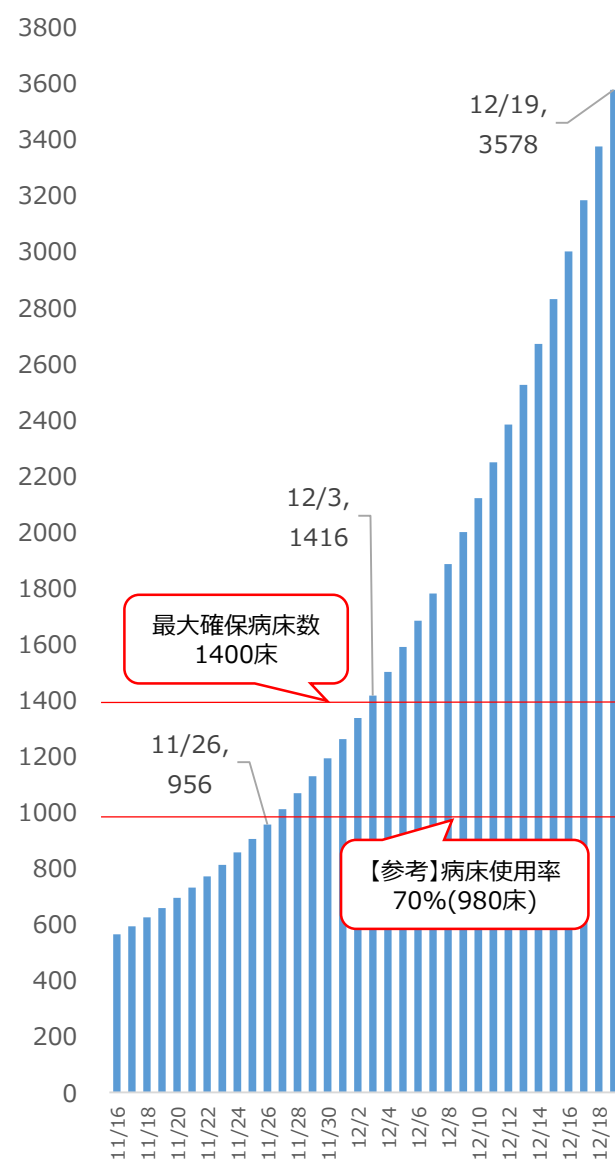


入院者数及び療養者数のシミュレーション 想定③新規陽性者数が前週比1.5倍ずつ増加していく場合

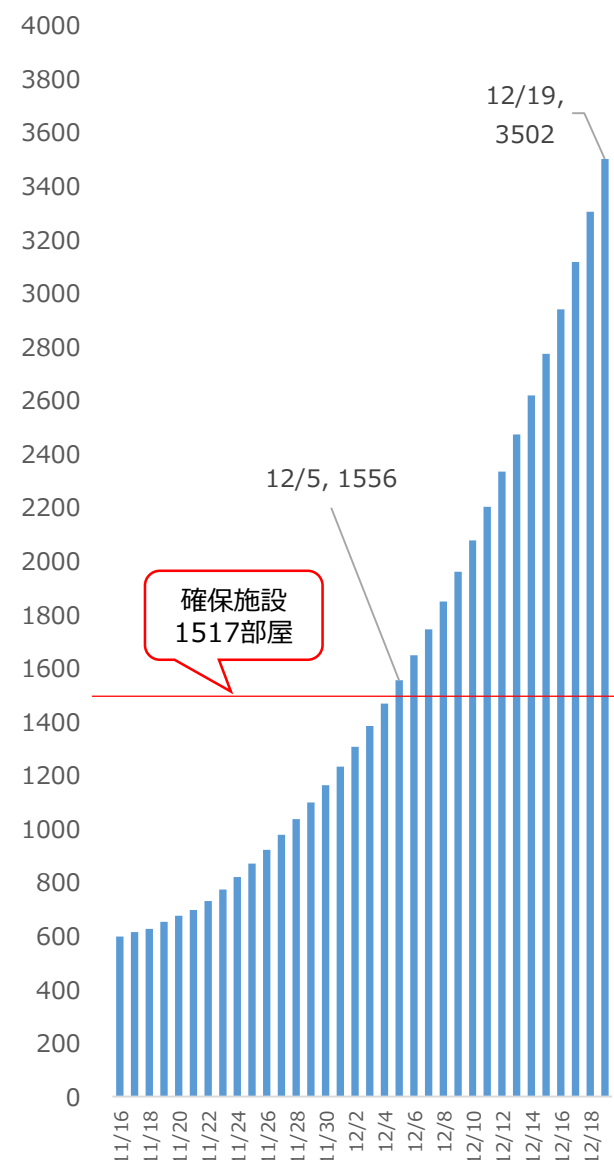
入院患者数（重症）



入院患者数（軽症）



宿泊療養者数



自宅療養者数

